

災害時に町民のみなさんに実践していただきたい「命を守る行動・知識」を毎月お伝えしていきます。

冬は乾燥し、火災が増える季節です。今年の2月に岩手県大船渡市で発生した山林火災は、皆さんの記憶に新しいと思います。この火災では、平成以降、国内最大規模の延焼範囲となる約3,370haが焼け、死者1名、全壊・半壊等の家屋被害が226棟に及びました。一瞬の油断が、大規模な山火事につながるかもしれません。一人ひとりが火の取り扱いに注意することで、未然に火災を防ぎましょう。

山火事の多くは、たき火や野焼きが原因で発生しています



【原因】山火事の出火原因の多くは人的要因

令和元年から5年に発生した山火事の発生原因の1位はたき火（32.6%）でした。一方、落雷などの自然現象によるものはまれです。



【発生しやすい時期】約7割が冬から春（1月～5月）に発生

冬は、森林内に落ち葉が積もって燃えやすい状態になっていることや、風が強いこと、特に太平洋側は乾燥した状態になるといった自然状態が重なるため、山火事が発生しやすい時期です。



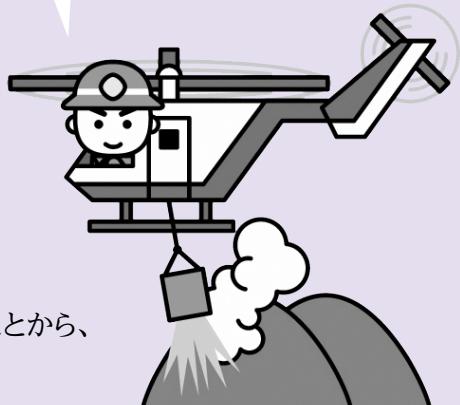
【発生件数】1年間に約1,300件発生（R1～R5全国平均）

1日あたりに換算すると、全国では毎日約4件の山火事が発生し、約2haの森林が燃え、約60万円の損害が生じていることになります。

山火事の発生を防ぐために！

- 枯れ草などがある、火災が起こりやすい場所ではたき火をしないこと
- たき火などの火気の使用中は、その場を離れず、目を離さないようにしましょう
- 消火の準備をし、使用後は完全に消火すること
- 強風時、乾燥時にはたき火や火入れをしないこと

一旦失われた森林を回復させるには何十年もの年月とコストがかかります。



山火事は、発生すると早期に延焼拡大することがあります。消防隊の進入が困難であることや消防用水の確保が難しいことから、他の火災に比べ鎮火までに時間がかかることがあります。

一人ひとりが火の取り扱いに注意することで、山火事の発生を防ぐことが大切です。

次回は「発災直後に注意すること」を掲載予定

【問】危機管理課 ☎0547(56)2237

内装＆外装 塗装工事一式
なかむら塗装
静岡県知事許可 第25802号

町リフォーム補助金などご相談、お見積りは無料です。お気軽にお問い合わせください。

川根本町徳山936
中村 剛子（なかむら たかね）
TEL・FAX 0547-57-2840